



6



5



3



1



2



8



7

5 ボックスカメラのコレクターというフランツさん。クラシックカメラ談義に30分も話し込んでしまった。
 6 ドイツ北部オルデンドルフの業者はドイツ製クラシックカメラをメインに出品。
 7 無造作に置かれたカメラ用品。思わぬ掘り出しものが…。
 8 ジャンク品ボックスも充実。ライカのアクセサリが20〜30ユーロ均一。VISOFLEX IIIをゲット。

1 会場案内はこの黄色い幕だけ。見逃しそうになった。
 2 気さくに取材に応じてくれたヘラーさん。ほぼ毎回出店するそうだ。
 3 自作の棚に陳列。一点ごとに値段が付いている
 4 写真集の専門業者も出店



4

東ドイツ製カメラの山をかき分けて、お目当ての逸品と巡りあった

★今回の旅の戦利品



印画紙、乾板、露出計など古い写真用品とともに、VISO III型、RETINA II、TAXONA Tessar付き、Zeiss Continaなど合わせて120ユーロ。



ミントコンディションのVITOMATIC IIIbはウルトロン付きで数少ないモデル。ケース、元箱、その他レンズフード、フィルター6点合わせて130ユーロでゲット。

1 ケット。価格だが、商品一点ごとに値付けをしているところは少なく、手にとつて店主に聞かなければならない。言い値で買うのではもったいない。値段の交渉ができる点は面白い。1点よりは2点3点と抱き合わせれば大きく値引きも可能だし、アクセサリ類などの小物は一山いくらかという交渉もできるので、非常にお得感がある。また、会場に来ていたお客さんとも少し話げできた。カメラコレクター



スクエアフォーマットで連写ができるロボットも魅力あるカメラ。巻き戻しが可能なROBOT STAR I型は人気が高い。本国ドイツだけにロボットはたくさん見かけた。純正フード、革ケース付きで120ユーロ。

1ユーロ=139.75円(2015.6.5現在)


の人は意外と少なく、あくまでも撮影に使える実用的なレンズやアクセサリが目当ての人が多い様子だった。パノラマ写真で作品作りをしているという男性はプラクチカで使うペロローズや、改造して使用するためのマクロフラスコを探しているということだった。実用品といえどもマニアックなものもドイツのカメラ文化の一旦なのかもしれない。

ちなみに筆者自身の購入実績はカメラ5台、ビゾフレックスIII型や古い露出計、印画紙、乾板、レンズフードなどのアクセサリを購入した。取材とはいえ純粋に買い物を楽しんでしまったことは事実。これだから先輩カメラマンに「ドイツにカメラを買い付けに行っているらしい」と冷やかされるのか…。ともあれ、滞在約3時間、円高だったらどんなに良かっただろうとなどと考えながら、取材を終え会場をあとにすることにした。

作品撮りで訪れる海外取材。当然撮影が最優先だが、楽しみの一つとして欠かせないのが現地の中古カメラ店やフリーマーケット巡りだ。今年4月に行ってきたドイツ取材の日程中、偶然にも滞在するハンブルクで中古カメラの即売会があるという情報を入手。事前に主催者側に取材の意向を伝え撮影許可を得ることができたので、本来の目的である作品撮りを一時中断、現地の中古カメラ市へと向かった。

場所はハンブルク中心部から電車とバスを乗り継いで約30分ほどにある市

民ホール。日本のように百貨店の催事場と違い、周囲は湖に囲まれており会場には「Kamera Boerse」という案内があるだけのシンプルなものだった。会場入り口で事情を説明し入場。土曜日のみ、たった一日の開催だったので本場にタイミングが良かったといえる。今回来ていた業者は約20業者。ドイツ国内の業者、特にハンブルクを中心とした北ドイツを拠点にしている業者が集まっていた。こういった中古カメラ市は毎月どこかの都市を巡業する形で開催されていて、出展料さえ払えばだれでも参加できるシステムだ。業者のほとんどが毎回参加している常連ということだった。商品の特徴はそれぞれ異なり、店主自身が数千台を保有するコレクターであったり、フォクトレンダーのミントコンディションを扱う業者、日本製の一眼レフを揃える業者、写真集のみを扱う業者などバラエティーに富んでいる。なお、本家のライカやローライは意外と少なく特にレンズは日本同様出品物は少ない様子。一方ドイツの中古カメラ店の特徴ともいえる東ドイツ製のカメラは山のように見ることができた。陳列方法はショーケースのようなものではなく、クロスを敷いたテーブルに無造作に置いているだけの業者も目立ち、まさにフリーマ



Long Run Report SpinOff

作品撮りのついでに(ホント…笑)、中古カメラ即売会潜入レポート

中古カメラ紀行

文・写真=種清豊

年数回、作品撮りで訪ねる海外の国々。そんな撮影行におけるボクにとっての楽しみの一つが現地の中古カメラ店やフリーマ巡り。今回は、先月訪ねたドイツ北西部の街ハンブルグでの模様をお届けします。

ドイツ
ハンブルグ